

下水道地震・津波対策技術検討委員会報告書 目次(事務局原案)

まえがき	
1. 委員会設立趣旨	
2. 委員会名簿および開催状況	
3. 本書の構成	
第1編 東北地方太平洋沖地震の総括	
第1章 下水道施設被害の総括	
1-1 被害の全般概況	委員会資料より抜粋
1-2 下水道施設の被害	(1) 管路 (2) 処理場ポンプ場
1-3 被害の特徴と要因	(1) 管路:埋め立て造成地(浦安市、千葉市等)、埋戻し部の液状化(福島県)、盛土の変状(仙台市)、既存耐震対策の効果検証 (2) 処理場・ポンプ場:津波荷重と浸水による被害を整理
1-4 下水道施設被害による社会的影響	(1) 使用制限:浦安市、仙台市、釜石市の事例 (2) 公衆衛生等:溢水、未処理放流(多賀城市) (3) 交通障害、その他:交通規制(福島県)
1-5 緊急復旧、応急復旧の状況	(1) 管路施設:露出配管、雨水管へ接合(習志野市) (2) 処理場・ポンプ場:簡易沈殿池、固形塩素消毒(南蒲生) (3) その他(仮設トイレ、ユーティリティ):第2回資料より抜粋
第2章 今後の地震・津波対策における新たな視点	今回の地震で得られた知見、課題点、教訓を指針に反映すべく提案例)津波対策
2-1 耐震対策	今後の地震対策における新たな視点
2-2 津波対策	例)復興を念頭においた復旧方針
2-3 広域被害	※4月の緊急提言、6月の段階的応急復旧に関する提言、本復旧に関する提言の内容が反映される
2-4 減災対策、BCP、事後対応	
第3章 復興への新たな取り組み	
3-1 復興に向けての基本方針	復興分科会での議論内容を記載
3-2 復興への具体的な取り組み	
第2編 地震・津波対策の現状と既存施設の地震・津波対策への提言	
第1章 地震・津波対策の現状と課題	国土交通省が実施している全国の耐震対策の状況をまとめ課題を整理する
第2章 地震対策・津波対策を進めるにあたっての基本的考え方	
2-1 基本的考え方	基本方針を示す(防災と減災、施設の重点化など)
2-2 重点的な対策の促進	重要幹線、最低限確保すべき機能(揚水ポンプ、自家発電等)
2-3 対象とする規模	土木学会等の検討結果を参照する
2-4 地震・津波時に下水道が有すべき機能(BCP)	公衆衛生の確保方策(溢水対策、汚水排除)を整理する
2-5 防災目標	長期(改築更新)、緊急(5年)、中期(10年)ごとに設定
2-6 減災目標	暫定的対応(バックアップ機能の充実)
第3章 下水道地震・津波対策の促進に向けた取組	
3-1 耐震診断、耐津波診断・被害予測の実施	ハザードマップの公表、市民等の理解
3-2 下水道地震対策計画、津波対策計画の策定	下水道緊急地震対策計画、減災計画、中期計画
3-3 具体的な防災対策例	長期、緊急、中期それぞれに、L1、L2それぞれに
3-4 具体的な減災対策例	優先復旧機能設備の防護、電源車等の広域整備